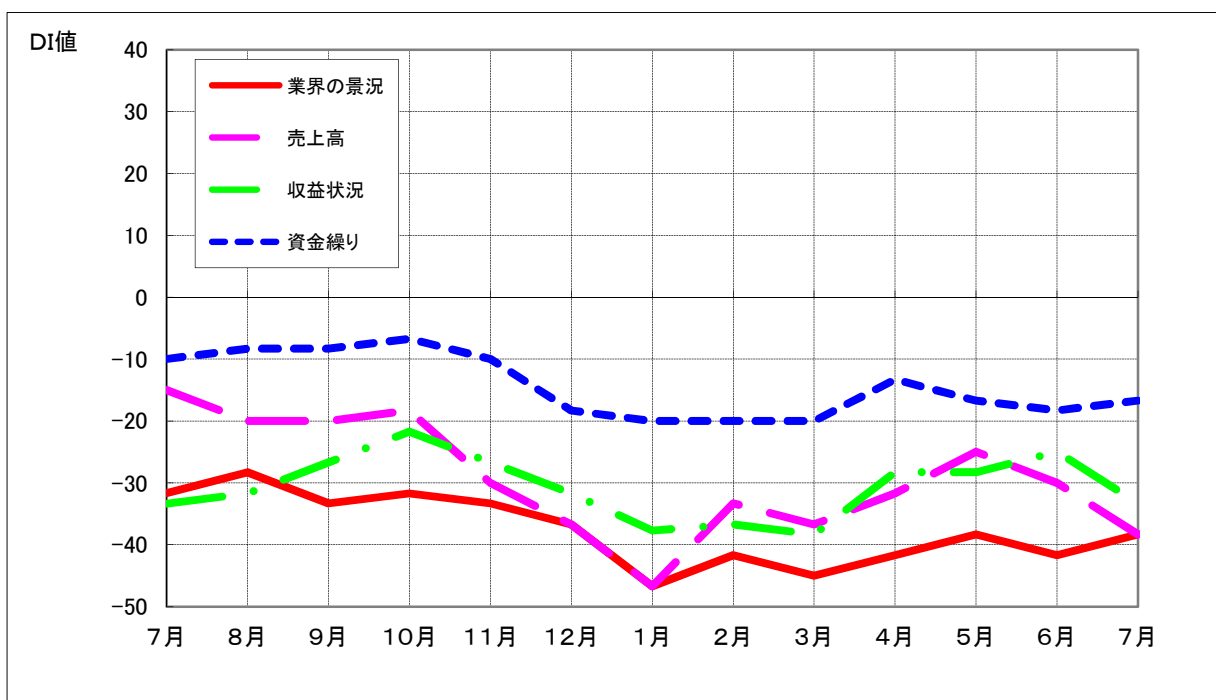


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成27年7月～平成28年7月

単位:ポイント



	H27						H28						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-31.7	-28.3	-33.3	-31.7	-33.3	-36.7	-46.7	-41.7	-45.0	-41.7	-38.3	-41.7	-38.3
売上高	-15.0	-20.0	-20.0	-18.3	-30.0	-36.7	-46.7	-33.3	-36.7	-31.7	-25.0	-30.0	-38.3
収益状況	-33.3	-31.7	-26.7	-21.7	-26.7	-31.7	-37.7	-36.7	-38.3	-28.3	-28.3	-25.0	-33.3
資金繰り	-10.0	-8.3	-8.3	-6.7	-10.0	-18.3	-20.0	-20.0	-20.0	-13.3	-16.7	-18.3	-16.7

7月のDI値は前月と比べ、2項目が改善し、2項目が悪化した。「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「資金繰り」DI値は1.6ポイント改善した。「売上高」DI値は8.3ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイント悪化した。前年同月と比べると、3項目が改善し、1項目は不変であった。「業界の景況」DI値は6.6ポイント、「売上高」DI値は23.3ポイント、「資金繰り」DI値は6.7ポイント悪化した。「収益状況」DI値に変動はなかった。

売上高DI値が、対前月、対前年同月とも大幅に悪化している。出荷量の減少幅が拡大したとの報告や、円高傾向の影響で売上の不透明感という報告もあり、今後の推移に留意する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、作業工具製造業から、利器工匠具は国内向けがやや低調に推移。輸出は刃物類を中心に好調を維持している。作業工具はアジア向けの輸出が減少する一方、国内向けは総じて堅調な動きとなっている。足もとの景況感は悪化傾向であり、先行きについてもさらなる悪化を見込んで、との報告が出ている。非製造業では、木造建築工事業から、春先からこれまでに売上高等において若干の増加が見られたが、厳しい状況にある、との報告が出ている。